

環境厚生委員会

政策課題 プラスチックゴミをはじめとするゴミのリサイクルについて

植松 健一 委員長コメント

11月定例会における環境厚生委員会は、所管事務調査として「公の施設の指定管理者の指定について」を調査しました。

富士宮市長生園、都市公園、富士宮市総合福祉会館、富士宮市営墓地の4件についてプロポーザル(企画提案方式)により、選定委員会が指定管理者を選定しました。当委員会での調査は選定委員会が行なった選定方法等について調査するものであり、当局からの説明の後、各委員から様々な質問を行い、選定が公正に行われたことを確認しました。

その他に、当委員会の政策課題であります「プラスチックゴミをはじめとするゴミのリサイクルについて」を議題に、10月末に行なった視察の成果を踏まえ、これからの研究の方向性について議論を交わしました。



先進地視察

- 視察内容
- ・プラスチックごみの分別収集及び再資源化について (埼玉県入間市)
 - ・使用済み紙おむつの再資源化について (新潟県十日町市)
 - ・プラスチックごみの分別収集及び再資源化について (東京都目黒区)

今回、3箇所の視察を行いました。

「プラスチックごみの分別回収及び再資源化の取組みについて」というテーマで埼玉県入間市、東京都目黒区にて見聞してきました。

分別回収に伴う財政負担増の対応として、ごみ回収の有料化も今後視野に入れる必要性があること、プラごみ削減のためのエコ包装事業者への補助金などが参考になりました。

また、高齢者宅への戸別訪問回収などについても、本市における検討の必要性について認識を新たにしました。

その他、新潟県十日町市にて「使用済み紙おむつの燃料化実証実験について」というテーマで視察して参りました。

いずれも本市の課題と重なるところがあり、大変有意義な視察でありました。今後の議会活動、市政に反映させて行きたいと思えます。



▲入間市の取組を視察



▲十日町市での視察